

<概要/Course Content Summary >

経済思想に関する卒業論文を作成する予定の学生を対象として、各学生の報告に基づき関連文献の読解をおこなう。過去の思想家の考えと自身の主張との接点を探り、現代的課題に対するアプローチの方法を吟味する。また、文献調査など論文執筆に必要なアカデミック・スキルを再確認し、学生相互のピアレビューを行いながら、卒業研究の議論を精緻化しつつ、他者に伝わる文章の書き方をマスターする。

<到達目標/Goals,Aims >

- ・過去の思想・理論が現在どのように評価されているのかわかる。【知識・理解】
- ・文献の内容をレジюмеなどを用いて他者に分かりやすく伝えられる。【技能】
- ・知識をもとに現代的諸問題に対して自らの考えを示せる。【表現】

<授業計画/Schedule >

(実施回 / (内容/Contents) Week)	(授業時間外の学習/Assignments)
第1回 インTRODakション	関連文献の精読とレジюмеの作成
第2-3回 経済と社会	関連文献の精読とレジюмеの作成
第4-5回 経済学者の仕事	関連文献の精読とレジюмеの作成
第6回 経済の制度的枠組み	関連文献の精読とレジюмеの作成
第7-9回 マクロ経済の課題	関連文献の精読とレジюмеの作成
第10-12回 産業の課題	関連文献の精読とレジюмеの作成
第13-14回 レポート作成：ピアレビュー	レポートの執筆
第15回 振り返りとまとめ	レポートの執筆

<成績評価基準/Evaluation Criteria >

平常点(クラス参加, グループ作業の成果等) 80%

クラス内での発表や提出物をもとに平常点を評価する。

期末レポート試験・論文 20%

出題テーマについて論理的な議論が展開されているかを評価する。

<テキスト/Textbook >

ジャン・ティロー『良き社会のための経済学』(日本経済新聞出版, 2018), ISBN:978-4532357825

<備考/Remarks >

授業形態：対面